シリーズ

野木町のごみ処理

問生活環境課 ☎(57)4246

⑭ごみ減量・資源化可能性調査結果

小山広域保健衛生組合にて、夏季と冬季に分け、ある地域のごみ集積所に出された可燃ごみ及び不燃ごみを対象に組成分析調査を実施しました。残念なことに、特に可燃ごみについては、多くの資源化可能なものが混入されているという結果になりました。分別されずに出されたごみは、処理をするのに多くのお金と手間がかかり、再利用することが難しくなります。生ごみや資源物として出せるもの（ペットボトル、アルミ缶・スチール缶、ダンボール、雑誌・雑紙（ざつがみ）、プラ容器など）は必ず分別して出してください。

一人ひとりがルールを守り、ごみの正しい出し方、ごみの減量化にご協力よろしくお願いします。

1．夏季の調査結果

【可燃ごみ】

■正しく分別されているもの……33・44％

■正しく分別されていないもの……66・56％

▼うち、資源化できるもの……66・25％

（内訳）生ごみ……32・82％
紙類……18・11％
プラスチック類……13・81％
古布……1・39％
金属類（アルミ缶・スチール缶）……0・12％

▼うち、資源化できないもの
びん、金属類、その他不燃物……0・31％

【不燃ごみ】

■正しく分別されているもの……62・81％

■正しく分別されていないもの……37・19％

▼うち、資源化できるもの……11・55％

（内訳）びん……4・59％
古布類……4・28％
プラスチック類……1・28％
金属類（アルミ缶・スチール缶）……0・91％
紙類……0・49％

▼うち、資源化できないもの
ゴム・皮革類……25・64％

2．冬季の調査結果

【可燃ごみ】

■正しく分別されているもの……44・28％

■正しく分別されていないもの……55・72％

▼うち、資源化できるもの……51・27％

（内訳）生ごみ……24・56％
紙類……20・54％
プラスチック類……5・44％
びん……0・24％
剪定枝……0・49％

▼うち、資源化できないもの
金属類、その他不燃物……4・45％

【不燃ごみ】

■正しく分別されているもの……72・38％

■正しく分別されていないもの……27・62％

▼うち、資源化できるもの……8・94％

（内訳）びん……5・84％
金属類（アルミ缶・スチール缶）……1・81％
プラスチック類……0・8％
紙類……0・23％
古布……0・12％
生ごみ……0・14％

▼うち、資源化できないもの
可燃物等……18・68％

雑紙（ざつがみ）類の分別にご協力ください

雑紙（ざつがみ）類は、雑誌などに挟むなどして、十字にしばって資源ごみで出してください。

※小さいものは、古封筒などに入れて飛び散らないようにしてください。

〈対象となる雑紙（ざつがみ）類の例〉